

平成28年度 決算状況				人口増減率	人口密度	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名	団体名	市町村類型	1-2
				27年国調 22年国調	43,293人 44,987人	29.1.1	44,467人	42,714人				08	2104		
				増減率	-3.8%	28.1.1	44,729人	43,107人				茨城県	下妻市	地方交付税種地	1-2
				積度	80.88km ² 535人	増減率	-0.6%	-0.9%							
歳入の状況 (単位:千円・%)															
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況 (単位:千円・%)			指定団体状況			平成28年度(千円)		平成27年度(千円)		
地方税	5,567,772	29.5	5,567,772	58.3	普通税	5,548,883	99.7	73,459	新産×	1,337	1,446	18,851,183	18,741,594		
地方譲与税	243,466	1.3	243,466	2.5	法定普通税	5,548,883	99.7	73,459	旧工×	6.2	6.6	17,897,746	17,470,376		
利子割交付金	4,016	0.0	4,016	0.0	市町村民税	2,483,263	44.6	73,459	低開×	8,013	8,103	953,437	1,271,218		
配当割交付金	15,825	0.1	15,825	0.2	個人均等割	76,535	1.4	-	旧産炭×	37.5	37.0	104,776	56,978		
株式等譲渡所得割交付金	9,281	0.0	9,281	0.1	所得割	1,880,197	33.8	-	山振×	12,045	12,379	848,661	1,214,240		
地方消費税交付金	708,258	3.8	708,258	7.4	法人均等割	155,301	2.8	-	近畿×	56.3	56.5	-365,578	393,312		
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,569,697	46.2	-	中×			823	70,727		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	2,564,374	46.1	-	財政健全化等×			-	-		
自動車取得税交付金	44,833	0.2	44,833	0.5	軽自動車税	126,362	2.3	-	指数表選定×			-	-		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	369,561	6.6	-	財源超過×			-	-		
地方交付税	3,547,973	18.8	2,916,378	30.5	法定外普通税	-	-	-				-	-		
内 普通交付税	2,916,378	15.5	2,916,378	30.5	法定目的税	18,889	0.3	-				-	-		
内 特別交付税	472,925	2.5	-	-	法人湯	18,889	0.3	-				-	-		
内 震災復興特別交付税	158,670	0.8	-	-	事業所税	-	-	-				-	-		
(一般財源計)	10,162,057	53.9	9,530,462	99.7	都市計画税	-	-	-				-	-		
交通安全対策特別交付金	5,625	0.0	5,625	0.1	水利地益税等	-	-	-				-	-		
分担金・負担金	204,721	1.1	-	-	法定外目的税	-	-	-				-	-		
使用料	236,073	1.3	13,642	0.1	旧法による税計	5,567,772	100.0	73,459				-	-		
手数料	27,130	0.1	-	-								-	-		
国庫支出金	2,716,430	14.4	-	-								-	-		
国庫提供交付金	-	-	-	-								-	-		
(特別区財調交付金)	-	-	-	-								-	-		
都道府県支出金	1,237,200	6.6	-	-								-	-		
財産収入	18,421	0.1	5,905	0.1								-	-		
寄附収入	11,626	0.1	-	-								-	-		
繰越入金	296,878	1.6	-	-								-	-		
繰越金	1,271,217	6.7	-	-								-	-		
諸収入	479,037	2.5	19	0.0								-	-		
地方債	2,184,768	11.6	-	-								-	-		
うち減取補填債(特例分)	-	-	-	-								-	-		
うち臨時財政対策債	577,568	3.1	-	-								-	-		
歳入合計	18,851,183	100.0	9,555,653	100.0								-	-		

性質別歳出の状況 (単位:千円・%)				目的別歳出の状況 (単位:千円・%)				区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	(A)の	基準財政収入額	5,299,827
人件費	2,276,196	12.7	2,100,178	2,084,858	20.6	議会費	205,405	1.1	-	205,405	基準財政需要額	7,834,811
うち職員給料	1,467,455	8.2	1,310,646	-	-	総務費	1,922,413	10.7	53,540	1,642,818	標準税収入額等	6,718,667
扶助費	3,379,821	18.9	996,092	976,313	9.6	民生費	5,312,826	29.7	1,779	2,663,988	標準財政規模	10,212,613
公債	1,626,918	9.1	1,572,682	1,572,682	15.5	衛生費	1,304,371	7.3	22,134	1,235,659	財政力指数	0.67
元利償還金	1,423,323	8.0	1,405,580	1,405,580	13.9	労働費	32,796	0.2	210	28,716	実質収支比率(%)	8.3
一時借入金	203,595	1.1	167,102	167,102	1.6	農林水産業費	899,242	5.0	240,045	456,763	公債費負担比率(%)	12.9
(義務経費計)	7,282,935	40.7	4,668,952	4,633,853	45.7	商工費	138,677	0.8	-	117,048	判断実質赤字比率(%)	-
物件費	2,531,403	14.1	1,900,858	1,636,379	16.1	土木費	2,714,915	15.2	1,715,178	1,180,052	健全実質公債費比率(%)	8.3
維持補修費	78,676	0.4	68,393	68,393	0.7	消防費	685,804	3.8	18,050	663,096	比率将来負担比率(%)	71.7
補助費等	2,234,984	12.5	2,004,340	1,533,506	15.1	教育費	2,879,273	16.1	1,270,839	1,422,862	積立金減価	1,522,696
うち一部事務組合負担金	1,456,706	8.1	1,456,706	1,108,288	10.9	災害復旧費	175,106	1.0	-	17,061	現在高	165,828
繰出金	1,936,666	10.8	1,709,913	1,455,433	14.4	公債	1,626,918	9.1	-	1,572,682	特定目的	2,257,212
積立金	314,586	1.8	288,889	-	-	諸支出金	-	-	-	-	地方債現在高	20,414,026
投資・出資金・貸付金	21,615	0.1	4,615	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	物件等購入	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	歳出合計	17,897,746	100.0	3,321,775	11,206,150	債務負担行為(支出不足額)	497,505
投資的経費	3,496,881	19.5	560,190	-	-	繰合計	1,970,460	10.4	528,177	473,262	その他の	523,901
うち人件費	60,623	0.3	60,623	9,327,564千円	92.0%	下水道	433,544	2.4	1,708	7,108	取益事業収入	-
普通建設事業費	3,321,775	18.6	543,129	92.0% (97.6%)		事業水道	33,794	0.2	13,143	103	土地開発基金現在高	150,000
うち補助	1,810,414	10.1	89,421	(減取補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)		等交通	-	-	117	117	合計	98.9
うち単独	1,428,122	8.0	439,869	歳入一般財源等		国民健康保険	460,512	2.6	117	117	市町村民税	96.3
災害復旧事業費	175,106	1.0	17,061	12,159,587千円		その他	1,042,610	5.8	263	263	率年	99.1
失業対策事業費	-	-	-								純固定資産税	95.8
歳出合計	17,897,746	100.0	11,206,150								(%)	95.1

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりました「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)